

授業科目名・形態	統合実習Ⅱ	実習	必修・選択の別	必修	単位数	1
科目担当者氏名	渡邊 知子	他	実務経験の有無	有	開講期	4年前期

【授業の主題】

修得した看護管理の知識と技術を応用展開し、看護・保健・福祉の実践活動について広い視点で理解する。自ら選択した専門領域で看護チームに参加し、医療チームに関わる人々との協働のあり方を理解する。また看護チームに参加し複数の受け持ち患者の看護を通してチームアプローチを含む看護実践活動を展開し、今までの知識・技術の統合を図り、看護観を深めることを目的とする。

【到達目標】

1. 地域で行われている看護活動とそのマネジメントおよび福祉との協働に対する理解を深める。
2. 地域に暮らす対象者の実際を知り、地域に根差した望ましい看護の提供方法を知る。
3. 地域における看護職とその他の医療職者との連携について学ぶ。
4. 訪問看護ステーションにおける看護管理の実際を知る。
5. 地域包括支援センターにおける看護師・保健師の役割と機能を知り、看護師・保健師・ケアマネージャーとの連携と協働の実際を知る。

【授業計画・内容】

詳細は統合実習Ⅱの実習要項を参照

実習場所：大館市内の各訪問看護ステーション，大館市内各地域包括支援センター，大館市立総合病院 など

【授業実施方法】

臨地実習

【授業準備】

これまで学習したすべての講義及び演習、また、すべての臨地実習の内容を整理するとともに、各科目において学習した地域における生活の継続に必要な支援について確認してください。看護管理やセイフティマネジメントに関する知識についても確認してください。

【主な関連する科目】

全ての看護学に関する授業・演習及び臨地実習

【教科書等】

これまでの看護学全般の授業でのテキストおよび資料、図書館の蔵書などを活用してください。

【参考図書】

適宜提示します。

【成績評価方法】

実習記録（80%）、実習態度・カンファレンスなどへの参加態度等（20%）により総合的に評価します。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

脳外科病棟，および，リハビリテーション病棟の勤務時には自宅や介護施設へ移動する際の看護援助を行ってきました。また，在宅失語症者の介護負担観の研究や外来通による日常生活への影響の研究から，健康障害と生活障害の両方を持ち，医療施設から介護施設や地域宅へと生活の場を変更する際の患者と家族が生活を再構築するためのシームレスな援助の必要性と難しさを明らかにしました。

【学生へのメッセージ】

生活者である患者と家族が地域で安全・安楽な生活を構築するための地域包括ケアシステムの中で看護職が担う役割を学び、シームレスな援助を提供することの必要性を知ること、利用者とは他職種の期待に応えることのできる看護職を目指しましょう。